

ツーサイド・マーケットにおけるグループ 内の第三種価格差別

小寺 俊樹*

January 19, 2011

Abstract

ツーサイド・マーケットにおいて、プラットフォームが一方のグループに第三種価格差別を行った上で競争する状況を分析する。そのときの均衡利潤を求め、価格差別が実施されない場合の利潤と比較する。Thisse and Vives (1988)をはじめ、第三種価格差別の寡占モデルで指摘されてきた価格差別を実行することによる利潤の低下に反して、ある条件下で価格差別が粗く行われるならば、価格差別を行うことの利潤が、均一価格の利潤に比べて大きくなる。

*名古屋大学大学院 経済学研究科 博士課程